

指導方法等の改善計画について〔理科〕

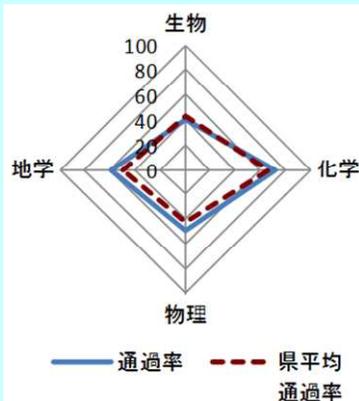
尾道市立日比崎中学校

「基礎・基本」定着状況調査 本年度通過率 (本校 55.4 %, 県 50.2%)

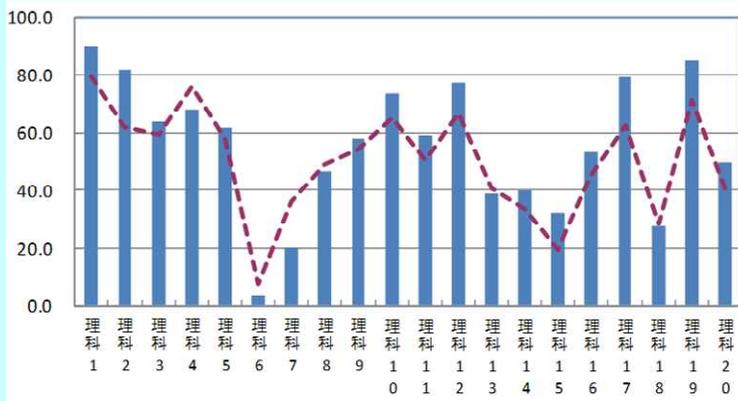
対県比

110.0 %

領域別平均通過率



設問1の平均通過率



学力定着実態調査 本年度正答率

本校 66.9 %
全国 65.0 %

対全国比

103.0 %

全国学力・学習状況調査 本年度正答率

知識

本校 67.0 %
全国 63.8 %
県 61.2 %

活用

本校 56.1 %
全国 48.8 %
県 48.7 %

本年度の結果について

- 「基礎・基本」定着状況調査については、化学・地学領域ではそれぞれ通過率が 73.0%, 58.9%となり、昨年度より成果が出たといえる。しかし、生物・物理領域ではそれぞれ通過率が 40.4%, 49.5%と課題が見られた。
- 「全国学力・学習状況調査」についてはA問題、B問題ともに全国・県の通過率を上回った。しかし、「観察・実験の技能」の観点の通過率が 47.7%であり、県通過率 48.0%と比べて課題が見られた。

重点課題

【課題1】「基礎・基本」定着状況調査

- ・アブラナとマツの花の違いを選ぶ問題において、通過率が低い。被子植物の花と裸子植物の花の違いを理解できていないことや、文章を読み取り、問われていることに対して正確に解答する力に課題がある。(設問6 通過率 3.8%)

【課題2】全国学力・学習状況調査

- ・溶解度の表を用いて、2つの物質のどちらが溶けやすいかを選ぶ問題において、正答率が低い。溶解度という科学的な用語を理解できていないことや、表やグラフを読み取る力に課題がある。(設問1-2 通過率 27.7%)

重点課題に対応した改善指導内容及び方法 (授業)

【課題1】「基礎・基本」定着状況調査

- ・被子植物と裸子植物の花の違いについて、実物や写真を用いて正確な理解を図る。また、文章をしっかりと読みとり、正確な解答ができるように基礎的・基本的な知識を活用して考えていくような問題解決的な授業を実施し、思考力や読解力を育てていく。

【課題2】全国学力・学習状況調査

- ・溶解度という科学的な用語を理解させることについては、日常的なものと関連づけて説明することで正確な理解を図る。また、普段の授業の中で表やグラフを実際に自分で書いたり、読み取ったりすることで表やグラフに関する技能を育てていく。

「基礎・基本」定着状況調査	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法		1年生 小テスト		2年生 定期テスト		1, 2年生 学年末テスト	1年生 H27「基礎・基本」
目標値		60.0%		70.0%		70.0%	75.0%
実施後数値							

全国学力・学習状況調査	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法		1年生 定期テスト		1年生 定期テスト		1, 2年生 学年末テスト	1年生 H27「全国学力」
目標値		60.0%		70.0%		70.0%	70.0%
実施後数値							